



# 湯島だより

令和4年度 5月号  
文京区立湯島小学校  
校長 小池 夏子

## 判断力を鍛えることが大事

副校長 辻 真

日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。令和4年度が422名の児童とともにスタートし、落ち着いて学校生活を送ることができています。

さて、約140年ぶりに、成年年齢が2022年4月より、現行の20歳から18歳に引き下げられたというニュースが報道されました。世界的にも成年年齢を18歳とするのが主流となっており、公職選挙法や憲法改正国民投票の投票年齢を18歳に定める等、国政への参加に対する政策が進められてきていました。そのような背景を基に、民法においても成年年齢を18歳に引き下げたということです。

成年年齢に達すると「一人で契約をすることができる年齢」「父母の親権に服さなくなる年齢」という意味を民法上ではもっており、一人一人が責任をもって、正しい判断をしていくことが必要となります。

判断力とは「ものごとを正しく認識し、評価する能力」と辞書では定義しています。しかし、判断する力は年齢が達したから身に付くというのではなく、それまでの知識や経験によって身に付いてくるものです。通常、多くの場合において、複数の選択肢があります。その選択肢には、大抵メリットとデメリットが存在し、自分に取って最適な内容を選択していく力（判断力）が必要となるわけです。その力を付けるためには、外からの刺激や情報を多く得る事が大事だと言われています。様々な本を読んだり、人の話を聞いたりすることで自分自身の視野が広がり、物事を柔軟に判断できる力が培われていきます。

学校では、その知識や経験を増やし、視野を広げていくために、様々な取組を行っています。その一部を紹介いたします。

### 「主体的・対話的な深い学び」の実現に向けて

「主体的・対話的で深い学び」を念頭に、学習指導要領の内容を踏まえた問題解決学習、体験学習を普段の授業に盛り込み充実させるとともに、総合的な学習の時間や生活科において、地域の専門家をお招きする特別授業を積極的に行い、児童が自ら調べ、課題を解決する活動の充実を図ります。

### 「プログラミング的思考の育成」に向けて

GIGAスクール構想やSociety5.0社会に向け、研究校としての実績を生かし、情報モラル、プログラミング的思考を含む情報活用能力の育成に向けたカリキュラム・マネジメントの工夫、「湯島モデル」を活用した、分かる・楽しい授業のさらなる実現を目指します。

### 「言語能力の育成と外国語教育の充実」に向けて

外国語・外国語活動を通して、コミュニケーション能力の育成に努め、更なる充実を図っていきます。また、漢字能力検定や図書の利活用を推進し、「調べる学習コンクール」にも取り組みます。

これらの他にも、様々な活動を通じて、将来の大人にとって基礎となる有意義な学びの場を設定していきますので、御協力をよろしく願います。

## 1年生を迎える会

4月18日(月) 青空の下、校庭で

1年生を迎える会が行われました。1年生は、2年生から贈られた動物の指人形がついたペンダントをかけ、緊張した面持ちで待っていました。計画委員の開会の言葉の後、3年生代表児童が用意した花のアーチをくぐると笑顔になり、湯島小の一員として温かく迎えてもらえたことを実感できたようです。上級生の方に体を向けて呼びかけを聞く姿は、もう立派な湯島小の児童でした。1年生は、各クラスから選ばれた児童が、初めて立ったとは思えないほど落ち着いた態度で、ゆっくりはっきりとした大きな声でお礼の言葉を述べました。代表児童の言葉の後に、1年生全員で声を揃えて感謝の気持ちを伝えました。会の終わりに、覚えたての校歌を上級生と一緒に歌うころには、みんなが喜びと満足感でいっぱいの表情を浮かべていました。終わった後には、「やっと、他の学年の人の顔を見ることができて嬉しかった。」などの感想を述べていました。これから、全校行事に参加することが更に楽しみになったようです。

## 自転車安全教室

4月18日(月)、本郷警察署の皆様を講師に迎えて、自転車安全教室が行われました。児童はまず自転車の点検を警察の方と一緒にいき、その後実際に信号や交差点を渡ったり、狭いところを走ったりしながら、安全な走り方を体験しました。自転車事故は自ら気を付けることで、防げることも多くあります。自分の命や他人の命を守るために、ヘルメットをかぶったり、飛び出したりしないことをお子様と一緒に再度確認し、交通ルールを守った安全走行を心がけさせてください。

## 5月の予定

※雨天時の運動会の日程につきましては、  
運動会のお知らせを御覧ください。

感染状況によって、予定が変わることがあります。